

## 第2回水稲病害虫発生予察結果（伊豆市内）

4月下旬～5月上旬植えの早生品種（コシヒカリ等）

### 【生育状況及び病害虫発生状況】

コシヒカリ等の早生品種では、中干しの始まっている田んぼが見かけられるようになっております。

中干しがまだ始まっていない田んぼでは、1株の平均分けつ数は **17～20本** となっております。

中干しの目安は分けつ本数が **20本程度** となり

ます。中干しのやり方については前回の予察結果をご確認ください。

今回の水稲予察では病害虫の発生は確認されませんでした。



中干しが始まっている田んぼ  
（上白岩）

### 【けい酸加里(中肥)の施用】

けい酸加里は、根の張りをよくする効果や稲の茎を硬くし倒伏しにくくする効果があります。

また、稲の高温障害の発生（白未熟粒）を軽減する効果がありますので中干し期間前までに施用してください。施用量は10aあたり20kgとなります。



けい酸加里

### 【補植用取置苗について】

補植用取置苗を田んぼに放置しておくと、密植で軟弱な状態となり「いもち病」などの病気や害虫の発生源となる可能性があります。田んぼに放置してある補植用取置苗は必要がなくなりましたら早急に処分するようにお願いします。

また、田んぼの近辺に抜いておいておくだけではなく、土中に埋めるなどしっかりと処分するようにしましょう。



田んぼに放置されている  
補植用取置苗

## 5月中旬～5月下旬田植えの晩生品種(きぬむすめ、あいちのかおり SBL 等)

### 【生育状況】

5月中下旬に田植えを行った中生・晩生品種では、分けつは10本程度と増えてきております。分けつ本数を確保するために昼間は水を止め、水温を確保するように努めてください。

今回の水稻予察では病虫害の発生は確認されませんが、雑草の発生が見られましたので、除草剤を使用した防除では薬剤の使用時期を確認し散布を行ってください。



5月27日田植え  
あいちのかおり

薬剤名	使用時期	使用方法	使用量	使用回数
ヒエクリーン 1キロ粒剤	移植後15日～ ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで	湛水散布又は無人ヘリ コプターによる散布	1kg/10a	1回
薬剤名	使用時期	使用方法	使用量	使用回数
レプラス 1キロ粒剤	移植後14～ ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	湛水散布又は無人航 空機による散布	1kg/10a	1回



ヒエクリーン1キロ粒剤



レプラス1キロ粒剤



前回の予察結果・栽培管理は  
こちらからご覧になれます！  
次回予察予定 6月18日

作成日：令和6年6月5日  
JAふじ伊豆修善寺営農経済センター  
担当：竹村  
電話：0558-72-4461